

3月17日（月）晴れ・30℃近くになるが朝晩は涼しい

8時半から9時の間に生徒が登校してきます。まずは図書館で学校案内を見ながら説明をうけます。まだ英語に耳が慣れていない生徒たちのために、ふたりの日本人留学生が手伝ってくれました。

次に校内見学。明日からはいろんな場所で現地の高校生と一緒に授業をうけるので、しっかりと場所を確認します。教科ごとに建物がわかれていて、授業のたびに教室移動します。見学中に出会った現地の生徒たちはとてもフレンドリーで、手をふってあいさつしてくれました。

週に一度の全校集会があり、そこで現地の生徒と対面式をすませると、モーニング・ティーの時間です。こちらが校内見学していた時間に調理実習で作ってくれていたミートパイ、エッグタルト、チョコレートタルト、数種類の菓子パンなどが並んでいるのをみて、一高生から大きな歓声があがりました。バディがやってきて一緒に食べながら、親睦を深めます。

その後、先住民アボリジニの方から、森をみながらレクチャーをうけました。民族楽器による歓迎の演奏、アボリジニがさまざまな生き物についてどう考えているか、ファイヤー・スティックによる火起こしの実演、男女3人ずつの生徒が教わってアボリジニのダンスを体験します。踊らない他の生徒は手拍子で参加しました。

ランチタイムはバディと一緒に。モーニング・ティーの時には、バディが何を言っているのか聞き取れずに緊張していた生徒も、ランチの時には「めっちゃ話せたー！！」と笑顔で帰ってきました。

午後はアボリジニの方の指導を受けながらブーメラン投げを半数以上の生徒が体験しました。緑に囲まれた広い運動場で、のんびり時間が過ぎていきます。

15時5分のスクールバスを逃すと帰れない生徒が急いで帰っていき、15時15分には最後の生徒も迎えが来て、学校は静まりかえりました。部活はありません。

